

編集後記

この研究論集が本学の研究成果を学外に発信する一つの有力な手段、媒体として認知されかどうかは、ひとえに掲載される論文の質量によって決まるといえる。近年博士後期課程の院生の学位審査請求の要件として、大学がレフェリーチェックを受けた論文かどうかを何本以上と数で求めるようになった傾向を受けて、院生の発表や論文がいずれの学会でも著増している。若手学究の研究には、テーマに真正面から向かい合っているものが多く、語学に堪能な国際派も増えているので、ベテランにも近刊の著名論文を逆に知る機会として重宝で、若手の活躍は歓迎されてよい。しかし、現代の混沌とした時代相の中では、ベテランの深い読みと知識の蓄積には、やはり貴重な見識として期待が大きい。

本誌にも、今年度はベテランの先生方が多数投稿して下さった。発信する側として、質量ともに実り多い論集をお届けできることを喜ぶたい。学外のレフェリーの方たちの誠心誠意を込めたコメントに感謝すべきは当然であるが、本誌の充実をますます期したいとの意を強くしたことをお伝えできるのが、なによりの喜びである。(2015年3月 編集子)

九州情報大学研究論集 第17巻

2015年(平成27年)3月31日 発行

編集兼発行者 研究論集編集委員会

発行所 九州情報大学
福岡県太宰府市宰府六丁目3番1号
TEL 092 (928) 4000 (代)

印刷所 エース印刷株式会社
福岡市中央区大濠一丁目6-9
TEL 092 (741) 9090